



2022

活動報告書

2022.04-2023.03

Annual Report 2022
April-March 2022-2023



公益財団法人 風に立つライオン基金

〒107-0052 東京都港区赤坂6丁目12番11号 赤坂甲陽ビル5F
Tel. 03-5575-3111 Fax. 03-5575-3112
<https://lion.or.jp/>



公益財団法人
風に立つライオン基金
THE LION STANDING AGAINST THE WIND FUND FOUNDATION SINCE 2015

設立者ごあいさつ

困っている誰かの笑顔のために
何が出来るかを考えながら活動してまいります。

皆様の厚いご支援のおかげをもちまして私たちの財団は昨年度も精一杯の活動を行う事が出来ました。

海外9カ国での支援各団体に対する助成事業、トルコ大地震被災地でのAMDAへの活動支援、また現地ヘソーラーランタンを贈りました。

ささやかですが宮崎県延岡市、西都市、日向市、新潟県村上市、関川村への精一杯の災害支援も行うことが叶いました。また高校生ボランティア・アワードに於いては学校関係者の皆さんに私たちの「志」への理解が深まり、高校生の「志」へ、未来のための強いエールを送ることが出来るようになったと感じています。

小さな活動ながら、困っている誰かの笑顔のために何が出来るかを考えながら、これからも懸命に活動してまいります。

以上、心からの感謝を込めてご報告申し上げます。

今後とも益々のご支援を賜りますよう、何とぞよろしくお願い申し上げます。

風に立つライオン基金 設立者 さだまさし



理事長ごあいさつ

人として本当の豊かさを理解し、
愛ある活動を身近な地域から世界に向けて。

日頃は当基金の活動にご理解とご支援をいただきまして、誠にありがとうございます。

長引くコロナ禍がようやく終息に向かう兆しが見えたものの、ロシア軍によるウクライナ侵攻が長期化し、出口が見ない状況となった2022年度でした。また、気候変動が原因と見られる自然災害が世界各国で拡大し、日本国内でも大雨による被害が多発しました。

当基金は「令和4年7月14日からの大雨災害」「令和4年台風14号災害」「令和4年8月豪雨災害」「トルコ・シリア大地震」にわずかですが支援をさせていただきました。

特に「令和4年8月豪雨災害」に関しては、大きな被害を受けた新潟県関川村と村上市で、初めて「ライオンらくごカフェ」を実施。ストレスフルな生活が続く被災地の方々のために、心のケアを致しました。また、トルコの被災地に対しては、野口健氏が代表を務めるピーク・エイドとランドポート株式会社、岡山県総社市との連携により、ソーラーランタン「CARRY THE SUN」を届ける支援を行いました。

2年続けてオンライン大会となっていた「高校生ボランティア・アワード」が3年ぶりに大会場でリアル開催をすることができたことは、主催者として大きな喜びでした。高校生たちを応援することはこの国の未来へのエールであると、改めて彼らの可能性を実感した大会となりました。

海外で医療や教育、難民支援などの活動をするNPO等への支援も、年々少しずつではありますが、支援先を増やしつつあります。金額的には決して十分とは言えませんが、当基金をご支援くださる皆様からお預かりした浄財を、こうした形で今後もしっかり繋げてまいりたいと考えております。

2023年度からは、皆様からのご寄付だけに頼らないような基金へと体質改善することを念頭に、また、頻発する災害に対する平時からの準備を様々な団体と連携しながら進めてまいりたいと存じます。

世界情勢が変わりゆく中、我々は人として本当の豊かさを理解し、愛ある活動を身近な地域から世界に向けてしっかり広げてまいりたいと思います。

今度ともご支援・ご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。

風に立つライオン基金 理事長 古竹孝一

風に立つライオン基金とは

存在理由

我々は、小さな『志』の集合体です。

我々は、災害に苦しむ人を支援します。

我々は、ささやかで偉大な活動を行う人を応援します。

我々は、大切なひとの笑顔を守るための「平和」について考え、活動します。

一人一人の小さな思いが、沢山の小さな生命を支えられることを信じます。

「風に立つライオン基金」はその為の組織です。

2015年 夏 さだまさし

活動理念

1. 私たちは「いのち」や「平和」を守る為に奉仕活動や慈善活動をしている個人や団体に対し、細やかな援助をしていきます。
2. 私たちは大規模災害などで被災した方々に対し大きな組織では目の届かない場所や人へ、ささやかでもぬくもりのある支援をしていきます。
3. 私たちは金銭的、経済的な支援だけでなく、人的支援を行うための組織作り、人材育成を行います。

活動内容

1. 海外支援
国内外において「いのち」や「平和」を守るため支援活動や慈善活動を実践している個人、団体に助成し、偉大な志を支援する活動。
2. 被災地支援
大規模な自然災害に被災し、心に痛手を負った人々へ物資や炊き出しを届け、慰問コンサートやチャリティイベントなどぬくもりのあるエールを届ける活動。
3. 高校生ボランティア・アワード
日々地道な奉仕活動を実践する高校生が活動を発表し交流することで、理解を深め、連携し、切磋琢磨する場を提供するとともに、それを顕彰し継続と発展を願う活動。
4. 講演・イベント
有識者や著名人をお迎えした講演やチャリティイベントを開催し、参加者に笑顔と幸せを届け、活動を継続する募金を呼びかける。

「風に向かって立つライオンでありたい」

風に立つライオン基金は、国内外において「いのち」や「平和」を守るために奉仕活動や慈善活動を実践している個人・団体を支援しています。

今年度で助成事業は8期目を迎え、延べ56団体に78,381,168円の助成を実施しました。
これからも、「風に立つライオン」の志を応援していきます。

実施期間	2022年4月1日～2023年3月31日
助成総額	17,668,000円
助成団体	11団体

一般社団法人 共生の会

国際医療 ケニア共和国

ケニア共和国ナクル州における
巡回診療活動の継続及び拡充

助成額 1,584,000円

ナクル州（12回計2,100名）、カジアド州（9回計1,374名）での巡回診療の継続、及びカジアド州の幼稚園、小学校、中学校の学童検診（3回計108名）を実施した。継続的に巡回診療及び学童検診を実施することで、自身の健康状態に関心を持ち、健康の維持・向上、未病への意識改革に繋がった。



特定非営利活動法人 DAREDEMO HERO

平和や自然環境を守る活動 フィリピン

フィリピンの貧困層の女性が
衛生的に生きるためのセミナー開催

助成額 995,000円

貧困がゆえに最低限の権利と健康衛生が守られていない女性300名に対して、それらを守るための最低限の知識を伝えるために調査及びセミナーを通年で継続開催した。地域の保健師も同時に教育することにより、地域全体の女性の意識を向上させることができ、適切な機関にアクセスする女性の数を増加させることに寄与した。



シロアムの園

国際医療 ケニア共和国キアンブ郡

療育事業の強化により、
ケニアの障がい児の命を守る事業

助成額 2,000,000円

創立8年目を迎えた2022年は、新施設の建築と移転を行い、移転先での新しい体制を確立する大きな節目の一年となった。8月に新施設に移転し、約50名の障がい児とその家族が、様々な機能や空間が改善された新施設にて医療、リハビリ、教育、社会的・精神的な支援などを受けることができ、生活のあらゆる面が改善された。



特定非営利活動法人 フレンズ・ウィズアウト・ア・ボーダー JAPAN

国際医療 ラオス人民民主共和国 ルアンパバーン県

外科手術や検査を必要とする
ラオスの子供たちをより多く救う事業

助成額 2,192,000円

当団体がラオスに設立したラオ・フレンズ小児病院では、医療費は原則無料だが、専門医による外科手術、検査、輸血等の費用は自己負担となる。今回、外科手術842件、検査374件、血液バッグ1993件の費用をいただき、経済的理由で治療を断念せざるをえなかった子供たちに生きるチャンスを広げることができた。



特定非営利活動法人 難民を助ける会 (AAR Japan)

平和や自然環境を守る活動 カンボジア王国
カンダール州 クサイ・カンダール郡

カンボジアにおける障がい児支援事業

助成額 832,000円

2021年度事業で支援した保健センターや特別支援学級での活動状況のモニタリング及び実地訓練を実施した。障がい児の支援方法の検討や保護者を対象としたホームエクササイズ等の指導、専門機関の紹介、提供した物品の使用状況の確認を現地理学療法士と共にに行った。また、障がい児延べ99名が専門機関にて治療や手術、リハビリテーション、補装具の支援を受けた。



特定非営利活動法人 胃癌を撲滅する会

国際医療 ブータン(ティンブー)・ラオス(ビエンチャン)

ブータン・ラオスでの
胃癌撲滅の為に内視鏡医育成プロジェクト

助成額 1,876,000円

本年度は、ブータンにおいて4回のインターネットを介した症例検討会による内視鏡医の育成を続けた。また順天堂病理学八尾教授が現地を訪問し7名の病理医に胃癌病理のセミナーを開催。理事の鴨川はモデル地区ダワカ小学校で200名の児童に胃癌の講義を行った。ラオスでは、ミタパブ病院にてラオスの内視鏡医20名の実地内視鏡訓練を行うと同時に2回のインターネットセミナーも行った。



特定非営利活動法人 HANDS

平和や自然環境を守る活動 シエラレオネ共和国カンビア県
マグベマ郡とマンボロ郡

子どもから地域住民へと育む
持続可能な栄養改善の仕組み作り

助成額 977,000円

シエラレオネ国カンビア県の小学校10か所で、教師、児童、母親支援グループの女性たちが協力して、栄養価の高いモリンガと野菜を育て、現在週2回収穫物を学校給食に提供している。教師20名に食と栄養の研修、母親支援グループ50名に、モリンガ葉粉末の製造・貯蔵研修、モリンガ料理講習会、モリンガ葉・粉末の提供記録研修も行った。



公益社団法人 シャンティ国際ボランティア会

平和や自然環境を守る活動 ミャンマー連邦共和国
西バゴー地域およびカレン州

ミャンマーの僧院附属小学校における
読書を通じた学習改善事業

助成額 1,672,000円

孤児や貧しい家庭の子どもを受け入れている僧院附属小学校2校に学校図書館を設置、図書1,742冊、本棚等を配布し、子どもたちが読書を通じて想像力や批判的思考を育む環境を整備した。開館から2カ月間で累計3,946人の児童が利用した。また、教員20人に対し学校図書館の活用・運営に関する研修を実施し、読み聞かせの手法や蔵書管理について学んだ。



特定非営利活動法人 テラ・ルネッサンス

平和や自然環境を守る活動 ウガンダ共和国アジュマニ県

南スーダン難民及び
ホストコミュニティ住民への自立支援

助成額 2,169,000円

ウガンダで生活する南スーダン難民と、ウガンダ人ホストコミュニティ住民へ自立支援を行った。洋裁・編み物・木工大工・レンガ積み・溶接・養豚の職業訓練を受けて開業した受益者170名に、技術補完訓練や販売促進等の支援を実施した。これによりCovid-19等の影響を受けていた受益者が収入を向上させることができた。



児童養護施設ハウスオブジョイ

平和や自然環境を守る活動 フィリピン共和国

児童養護施設卒業生のフォローアップ調査と
連絡手段の構築

助成額 950,000円

コロナ禍に疎遠となっていた卒業生たちの現状を知るべく、25回の出張調査を行い、60人の卒業生を訪問し、コロナ期間中に出生した7名の育児支援、失職していた視覚障害を持った2名の就労支援、生活に困窮していた8名の生活支援を実施した。



特定非営利活動法人 ロシナンテス

平和や自然環境を守る活動 スーダン共和国 ハルツーム州

スーダン共和国における
コミュニティヘルスプロモーション拡充事業

助成額 2,421,000円

スーダンの保健医療アクセスが十分でない地域で、感染症予防とプライマリーヘルスケア向上のプロジェクトを実施予定だったが、首都を中心に大規模な軍事衝突が発生し、事業を中断せざるを得なくなった。事業が再開できる状況になり次第、事業を再開する予定。

※治安情勢に鑑み助成金はお預けしたまま、状況が好転した後に事業を再開していただきます。次年度以降に再度ご報告いただきます。(助成事務局)



「ささやかでもぬくもりのある支援」を

コロナ禍で県外移動の制限がある中、当基金がなしうる支援を考えた年でした。災害大国の日本では毎年台風や豪雨災害が広範囲に亘っているため、全国社会福祉協議会から各都道府県の社会福祉協議会に繋いでいただき、事務局でヒアリングをしながら、被害の状況を見ながら支援をいたしました。

また、2022年度は「心の支援」として、初めて「ライオンらくごカフェ」を実施しました。

令和4年7月14日から大雨支援

令和4年7月14日から大雨で宮城県大崎市で河川決壊や内水氾濫による水害、土砂災害が発生。多くの市民の方が被害を受けられました。大崎市災害ボランティアセンターを通じて、支援に入られたボランティアの方々への後方支援として、以下の物資をお送りいたしました。

送付物資	SOYJOY 500本（株式会社カブルス様にご寄贈いただきました。）
	消毒用アルコール 4L 10本
	タオル 20本

令和4年台風14号災害支援

令和4年台風14号により大きな被害を受けた宮崎県へ、全国社会福祉協議会、宮崎県社会福祉協議会を通じ支援を行いました。いずれも、災害ボランティアセンター設置・運営に係る備品等の整備費用としてお送りいたしました。

助成費用	延岡市社会福祉協議会	500,000円
	西都市社会福祉協議会	500,000円
	日向市社会福祉協議会	100,000円

※日向市につきましては、市独自で委託契約をして一定の委託費を得ているということで支援金額が低くなっております。

令和4年8月豪雨災害支援（ライオン・らくご・カフェ）

令和4年8月豪雨で大きな被害を受けた新潟県関川村と村上市で、2022年11月26日（土）「ライオンらくごカフェ」を実施。猿田彦珈琲さんのドリップコーヒー教室と、柳家一琴師匠の落語会を開催。仮設住宅でのストレスフルな生活が長引く中、少しリフレッシュしていただけたかと思います。また、今後同様の取り組みを行っていききたいと思います。



トルコ大地震 被災地に優しい灯り 風に立つライオン基金×ピークエイド×ランドポート×総社市

国内外で災害支援に取り組むアルピニスト野口健さんが設立した認定NPO法人ピーク・エイドと大規模災害に備え、協力するため2021年に災害支援協定を締結し、初の支援活動となりました。トルコ大地震の被災地へ灯りをお届けしようと、野口さんより協力依頼があり、記者発表を行いました。この支援活動にはランドポート、総社市とも連携し活動を実施。



トルコ大地震 特定非営利活動法人AMDAへの支援

熊本大地震以来、災害地の現場でお会いする機会が多く、何かお手伝いできることがあれば協力させていただきたいと考えておりましたが、今回ようやくきちんとした形でご支援させていただく機会となりました。早くからトルコの現地で救助活動を行っていたAMDAの皆様へ、活動支援金として200万円をご寄付させていただきました。今後は、AMDA本部にAMDA兵庫も含めた三者での連携協定を締結することを検討しています。



高校生ボランティア・アワード2022

7回目を迎えた「高校生ボランティア・アワード2022」は、2022年8月16日・17日の2日間、新宿住友ビル三角広場にて3年ぶりに会場開催。コロナ禍のため一般の来場者を制限し、高校生と関係者だけの大会となりましたが、高校生同士の交流はかつてないほど活発に行われ、栃木県の高校生の呼びかけで新しいプロジェクトのきっかけが生まれました。



エントリー数	144団体(160校)
参加数	98団体(113校)
発表活動交流会 (地区大会)	各参加団体3分間のプレゼン+質疑応答。 同グループの団体の投票+事務局審査により、全国大会へ98団体選出。
全国大会1日目 8月16日(火)	ブース発表と高校生同士の交流、全編、YouTubeで生配信。
全国大会2日目 8月17日(水)	シンポジウム有識者を交え意見交換・質疑応答、ブース発表・特別表彰式。全編、YouTubeで生配信。 2日間で約8500人に視聴されました。



大会応援団のテツandトモ、新羅 慎二、ももいろクローバーZ

大会ロゴマーク

テーマ：「持続可能な未来へ」 応募数：約300点



最優秀作品

市立札幌開成中等教育学校 白取 飛羽さん

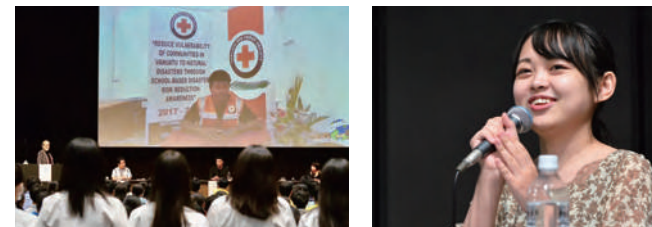
ブース発表

エントリーN0.1トライ式高等学院千種キャンパスの坂野友祐さんによる力強い開会宣言の後、ブース発表が始まりました。各団体が様々な創意工夫を凝らしてブースを装飾、活動写真や図画、模型などを展示し、自身も衣装や被り物を身に付けて活動を実演するなど、会場は活気に満ちていました。同じ志でボランティア活動をする高校生同士、お互いに積極的に訪問しながら交流を深めている様子が各ブースで見られました。



シンポジウム

二日目の午前中には、「わたしたちの未来について」というテーマで著名人を迎えたシンポジウムを行いました。国境なき医師団日本事務局長・村田 慎二さん、プロボクサーHEROsアンバサダー村田 諒太さん、株式会社ユグレナ2代目CFO川崎レナさん、東京学芸大学教育学部4回生中原舞子さん、バヌアツ赤十字社所属ユースボランティアバヌアツ工科大学付属高校2年生マヌ・ジョンさん(バヌアツからオンラインで参加)、そしてスペシャルナビゲーターとして、諏訪中央病院名誉委員長鎌田 實先生が参加。5名のパネリストの方々は事前に基調講演をお願いし、高校生たちはそれをYouTubeで視聴したあと、パネリストへ質問を提出しました。また、今回は初めてzoomで海外と繋ぎました。



特別表彰式

高校生ボランティア・アワードはSDGsの取り組みや探究学習や奉仕活動を行う全国の高校生たちの発表と交流をする大会です。全てのエントリー団体の活動はとても素晴らしいものばかりですし、元より甲乙を付ける大会ではありませんので、全団体を表彰することが大前提です。ただ、毎年それに加えて、応援団や協賛企業が特に気に入った団体に特別賞を贈賞しています。今回は過去最多23の特別賞を贈呈することができました。また、受賞した高校生と企業や団体がその後コラボレーションして新しいプロジェクトに結びつくケースも出てきて、より大きな活動が生まれることを大いに期待しています。



日本を変える、世界を繋ぐ、未来を創る「47分の1プロジェクト」発足

高校生ボランティア・アワード2022に集まった高校生がきっかけとなり新しいプロジェクトが発足しました。「全国の高校生が一つになれば、日本全体の様々な問題がより解決できるのでは?」「日本全体を変えていきたい」そんな強い志を持って新しいチャレンジをしようとする高校生の思いを実現するため、高校生がプロジェクトの中心となって意思決定をするようなスキームを作り、日本全国の社会課題を一つ一つ解決していくことを目指しています。



パネリスト



当法人評議員
諏訪中央病院 名誉院長
鎌田 実



国境なき医師団
日本事務局長
村田 慎二郎



ボクシング
前WBAミドル級王者
村田 諒太



ユグレナ
2代目CFO
川崎 レナ



東京学芸大学
教育学部 4年
中原 舞子



バヌアツ赤十字社所属
ユースボランティア
Manu John
(マヌ・ジョン)



フリーアナウンサー
寺島 尚正



フリーアナウンサー
川島 葵

※五十音順・敬称略

主催：公益財団法人 風に立つライオン基金
後援：国連広報センター／内閣府／文部科学省／朝日新聞社／社会福祉法人 NHK厚生文化事業団／東京都／社会福祉法人 東京都社会福祉協議会／公益社団法人 全国高等学校文化連盟
特別応援：特定非営利活動法人 国境なき医師団日本／青少年赤十字創設100周年／chFILES
助成：公益財団法人 日本財団

※協賛社は17ページに掲載 ※順不同・敬称略



大会ダイジェスト

すべての志を応援します！ 「風に立つライオン オブ・ザ・イヤー」新設

2016年に第1回目を開催した「高校生ボランティア・アワード」に加え2023年度より、「風に立つライオン オブ・ザ・イヤー」を新設し、「柴田紘一郎賞」と「鎌田実賞」を制定します。高校生たちにとっても将来の目標となるような賞として、「高校生ボランティア・アワード」と共に顕彰事業の両輪したいと考えます。

同賞は、日本国内外で命や平和を守るために支援活動や奉仕活動を実践する個人・団体を顕彰することで、その意義ある活動が広く認知され、より多くの支援・協力が集まり、活動が更に発展していくことを期待します。個人の善意に端を発したささやかな活動が、多くの人々の命や生活を支え、様々な社会課題の解決につながる大きな流れとなるよう、応援していきたいと思ひます。

■ 柴田紘一郎賞と鎌田実賞(各1件)

正賞	表彰盾、トロフィー等
副賞	200万円

■ 奨励賞(5件程度)

正賞	表彰状
副賞	10万円

※2023年度から毎年開催。募集は通年にわたり随時行われ、秋頃に表彰式を予定しています。



風に立つライオン オブ・ザ・イヤー 記者発表

2022年9月28日(水)、日本記者クラブにおきまして、「風に立つライオン オブ・ザ・イヤー」の創設を公式に発表いたしました。

「誰かのために人知れず必死で頑張っている、そういう人をもっと知らしめたい。ささやかだけど資金的な援助ができれば」と、お集まりいただいた報道関係の皆さんに贈賞に相応しい方々の推薦のお願いもして記者発表を締めくくりました。



ライオンカフェ presents 「心の防災～ほめる達人セミナー」

1月8日(日)、国立オリンピック記念青少年総合センターカルチャー棟小ホールにて3年ぶりにオフラインでのセミナーを開催。第一回目として選んだテーマは「心の防災」。講師は当基金の松本秀男理事(日本ほめる達人協会の専務理事)。

日常のコミュニケーション、それも家庭や職場といった身近な人々との関わり方を中心に、簡単なワークショップなども交えながら、約2時間にわたり講演しました。今後も「ライオンカフェ presents」として、講演会・勉強会を実施してまいります。



風の団・風に立つライオン・ユース 活動報告

2022年8月16日(火)17日(水)東京・新宿住友ビル三角広場で約3年ぶりに会場開催された「高校生ボランティア・アワード2022～持続可能な未来へ～」大会運営ボランティアスタッフとして、風の専門団(医師・看護師)、風に立つライオン・ユース(大学生)の皆さんが大会サポートをしてくださいました。

大会受付では、約100団体の参加生徒の体温測定・体調チェック・抗原検査の確認・通常の受付業務を担当。会場内の巡回、お弁当の配布、高校生からの様々な質問にも対応してもらいました。



ライオンカフェ・プラットフォーム

全国の様々な問題を解決するため、災害時に支援を必要としている人々に対し迅速かつ適切な支援を届けるための情報発信・共有の場として再オープンを予定しております。風の団・ライオンユース(高校生・大学生)はもちろん、広く一般にも門戸を広げる形の情報交流の場として、スマートフォンのアプリとして「ライオンカフェ・プラットフォーム」を新装します。

風の会員募集

風の団	
専門団 医療系歯科雨などの専門技術を活かす	会員種別：個人 年会費：1万円
奉仕団 キャリアやその他の持てる力を活かす	会員種別：個人 年会費：1万円
支援団 会費によって風の団の活動を支える	会員種別：個人 年会費：1万円
	会員種別：法人 年会費：1口10万円
	会員種別：特別法人 年会費：3口30万円～

風に立つライオン・ユース

学校や活動分野の垣根を超えて、自由で活発な交流をしながら切磋琢磨していきます。

会員種別：個人 年会費：無料 対象：学生・社会人(30歳以下)	会員種別：認定校 年会費：無料 対象：認定団体
---------------------------------------	-------------------------------

■ 会員特典

会員証、メルマガ、イベント等優先案内、グッズ販売など

※会員種別により異なります。



会員登録はこちら

法人・団体とのパートナーシップ

ご支援くださった法人のみなさま



法人や団体のみなさまの特徴や製品を活かした協働により、支援の輪と可能性を大きく広げることができます。
みなさまがこれまで培われた優れたスキルやノウハウで、ささやかで偉大な志を共に応援していくため、ぜひお志を共に歩んでくださいますと幸いです。

法人会員になって応援

企業・団体として風の団の支援団としてご登録いただき、会費によって、風に立つライオン基金や風の団の活動をサポートいただいております。
会員特典として、感謝状や感謝盾の贈呈および、ホームページや年次報告書等に企業・団体名を掲載させていただきます。

イベント協賛で応援

高校生ボランティア・アワードや風に立つライオン オブ・ザ・イヤーをはじめ、当法人が主催するイベントへの協賛を広く募集しています。新たな企画アイデアも、ぜひ一緒に創りあげていきましょう。

■ 高校生ボランティア・アワード2022協賛各社



寄付で応援

頂いた寄付金や寄贈品を追い風にして、災害時などに支援を必要とする方々や偉大な志の活動へ支援の輪を広げていきます。

※当法人への寄付金は、特定公益増進法人に対する寄付金として、法人税法上の損金算入限度額が通常の損金算入限度額とは別枠で認められます。限度額は、その法人の資本や所得の金額によって異なります。詳しくは、ホームページをご確認ください。



寄付はこちら

2022年度のパートナーシップ

■ 「富士通レディース2022」チャリティ

日本女子プロゴルフ協会公認のトーナメント「富士通レディース2022」(2022年10月14日～16日、於:東急セブンハンドレッドクラブ)を通じて、大会の収益金の一部12,612,140円万円を、「富士通株式会社」様よりご寄付いただきました



風の団支援団

■ 特別法人会員



■ 有限会社 勇不動産コンサルタント



■ 法人会員

アートレイクゴルフ倶楽部 丸松興産株式会社
有限会社スズキオートセンター小堀
医療法人社団亀生会 丹生クリニック
ハルテック株式会社
株式会社ビッグ・ハンズ大分
黒姫断熱株式会社
株式会社三幸グローバル
たちばな書道会

ご寄付

■ 有限会社 勇不動産コンサルタント



株式会社ランダムアソシエイツ

税理士法人 レガシィ

※10万円(相当)以上のご支援を頂いた法人・団体のみなさまを、敬称略・五十音順で掲載させていただいております。



風に立つライオン基金の活動は、みなさまの温かなご支援により支えられています。
頂いた寄付金や募金・会費・協力を追い風にして、必要とする方々や偉大な志へ支援の輪を広げていきます。

会員になる

【風の団】 基金が運営する支援組織に登録していただき、要請に応じて被災地支援などの活動にご参加いただく会員です。医療系資格などの専門技能を活かして活動していただく「専門団」と、専門資格を必要としない「奉仕団」、会費によって風の団の活動を支える「支援団」があります。

※詳しくはP12「風の会員募集」をご確認ください。

継続的に寄付する

月々1,000円から、クレジットカードによりご支援いただけます。



寄付はこちら

今回のみ寄付する

クレジットカードもしくは銀行振込によりご支援いただけます。

遺贈・相続財産で寄付する

風に立つライオン基金は、いのちといのちをつなぎます。わたくしたちの活動にご理解・ご支援くださる方々が年々増えており、遺贈や相続財産のお問い合わせも沢山いただくようになりました。託していただいた故人および相続人の方からのお志を、次世代の支援を必要とする方々へ繋いでゆきます。

※資料をご希望の際は、事務局までお問い合わせください。

これまでご支援いただいたご寄付のご報告

	支援人数	支援金額
第八期(2022年度)	6,763 人	58,575,256 円
第七期(2021年度)	6,174 人	83,805,622 円
第六期(2020年度)	6,845 人	136,190,466 円
第五期(2019年度)	2,635 人	45,472,959 円
第四期(2018年度)	2,393 人	55,306,226 円
第三期(2017年度)	1,683 人	28,956,869 円
第二期(2016年度)	1,646 人	52,278,107 円
第一期(2015年度)	689 人	68,871,580 円
累計	28,830 人	588,036,338 円

※2023年3月31日までの集計です。
※コンサート、イベント会場等でいただいた募金は支援金額のみ加算しており、支援人数には反映していません。
※各期は、4月1日～3月31日となります。(第一期のみ、2015年8月10日～2016年3月31日)

グッズを買って応援する

風に立つライオン基金のオリジナルグッズやコラボレーション商品をご購入いただくことで、手軽に応援いただくことができます。環境や人道負荷が少ない商品や、裏側にある生産者が紡ぐストーリーへの共感が社会貢献につながる世界を目指しています。企業や団体のみなさまからのコラボレーションのご提案もお待ちしています。



グッズ購入はこちら



折りたたみ電動アシスト自転車
「eco★ペダル」
(カーコンビニ倶楽部株式会社)



さだ彦珈琲のカフェオレのもと
さだ彦珈琲のコーヒーゼリー
(猿田彦珈琲株式会社)

寄付金控除・領収書について

風に立つライオン基金は、内閣府より「公益財団法人」の認定を受けているため、当法人へのご寄付は寄付金控除等の税の優遇措置(減税)を受けることができます。確定申告を行うことで、個人の場合は寄付額に対して最大40～45%が還付されます。詳しくは、ホームページをご確認ください。

大変ありがたいことに、様々なメディアに掲載いただいております。
ホームページもリニューアルし、今後もより多くの方に支援が届くよう発信してまいります。

新聞

日刊スポーツ新聞 山陰中央新報
朝日新聞 山陽新聞
京都新聞 日本海新聞
新潟日報 東奥日報
沖縄タイムス 宮崎日日新聞
茨城新聞 埼玉新聞
高知新聞 河北新報
大阪日日新聞 伊勢新聞

テレビ

フジテレビ「めざましテレビ」
日本テレビ「news every」

ラジオ

FM大阪「LOVE FLAP」
東海ラジオ「源石和輝!抽斗!」
ZIP-FM「GENZ(ジェネジー)」
FM NORTH WAVE「RADIO GROOVE(＃ラジグル)」

雑誌

未来の授業 SDGsパートナーシップBOOK
WAGOー和合ー

Web

Wonline

※五十音順・重複を除きます。

風に立つライオン放送局



2020年8月、「風に立つライオン放送局」を公式You Tubeで開設。
風に立つライオン基金の活動やささやかで偉大な志の想いなどを発信しています。チャンネル登録とお気に入り動画へのいいねをよろしくお願いいたします。



風に立つライオン放送局
公式YouTube



風に立つライオン基金ヒストリー
～設立のきっかけとあゆみ、
これからについて～



高校生ボランティア・アワード
2022
大会ダイジェスト映像

ライオン新聞創刊のお知らせ

この度「ライオン新聞」(季刊発行)を創刊する運びとなりました。日本のどこか、世界のどこかで、誰かのために頑張っている人にスポットをあてます。基金の活動報告や告知情報を掲載した季刊紙「ライオン新聞」を発刊(春・夏・秋・冬号)全国の公式設置ポイントにて配布を行っています。「ライオン新聞」の公式設置ポイントを募集しています。公式設置ポイントとして新聞を受け入れていただく場合、「公的施設・商店・飲食店」など一般の方が立ち寄れる場所であること、「風雨を避けられる場所であること」などの条件がございます。ご希望の方は、ホームページのお申し込みフォームよりお申し込みくださいませ。

ごあいさつ

ささやかで偉大な活動を行う人を応援します。
すべての「志」を応援します。
はじめまして「ライオン新聞」です。

日本のどこかで、世界のどこかで、
誰かのためにと頑張っている人にスポットをあて、
それぞれの物語をクローズアップしていきたいと思ひます。

「私の身近にコツコツ頑張っている人がいる」
「遠くの国でこんな素晴らしいことをしている人がいると聞いた」
そんな情報もお待ちしています。

今これを手にとったあなた、これもなにかのご縁です。
未来永くお付き合いよろしくお願いします。

【公式】公益財団法人風に立つライオン基金 YouTube チャンネル

ライオン新聞

創刊準備号

2023年2月発行
発行 公益財団法人 風に立つライオン基金
〒107-0052 東京都港区赤坂6丁目12番11号赤坂甲種ビル
Tel: 03-5575-3111 Fax: 03-5575-3112
Webサイト: https://lion.or.jp/

公益財団法人
風に立つライオン基金

公式設置ポイント
お申込フォーム



当法人では、公正で開かれた活動を推進するため、定款、事業計画、収支予算、事業報告、決算報告、貸借対照表などすべてをホームページに公開しています。



公益財団法人
風に立つライオン基金
THE LION STANDING AGAINST THE WIND FUND FOUNDATION SINCE 2015

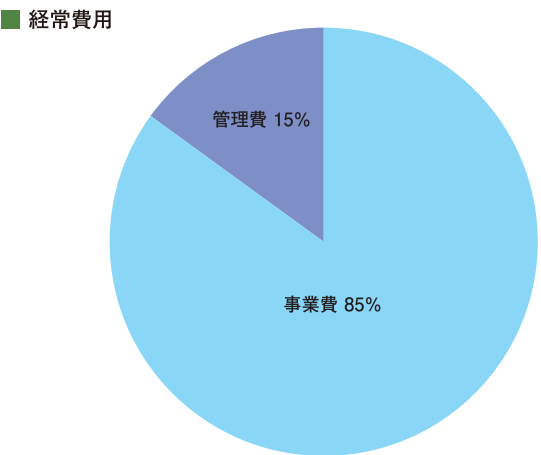
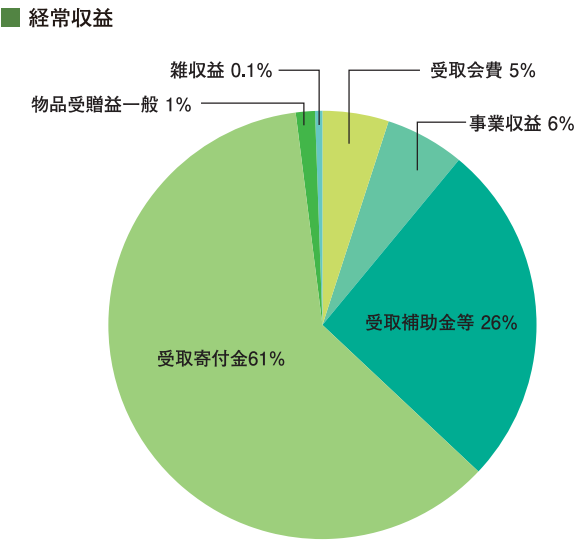
正味財産増減計算書

経常収益	基本財産運用益	0
	特定資産運用益	0
	受取会費	6,393,346
	事業収益	7,705,280
	受取補助金等	30,780,000
	受取負担金	0
	受取寄付金	72,464,864
	物品受贈益一般	1,579,200
	雑収益	158,854
	経常収益計	119,081,544
経常費用	事業費	111,060,955
	管理費	20,006,240
	経常費計	131,067,195
当期経常増減額		△11,985,651
法人税等		△220,000
一般正味財産期首残高		149,413,361
一般正味財産期末残高		137,207,710
指定正味財産期末残高		0
正味財産期末残高		137,207,710

※2022年4月1日から2023年3月31日まで(単位:円)

貸借対照表

資産の部		当年度	前年度
流動資産	現金預金	35,319,679	37,511,093
	その他流動資産	12,224,508	15,624,346
	流動資産合計	47,544,187	53,135,439
固定資産	基本財産	0	0
	特定資産	100,000,000	100,000,000
	その他の固定資産	2,252,696	2,155,049
	固定資産計	102,252,696	102,155,049
資産合計		149,796,883	155,290,488



負債の部	当年度	前年度
流動負債	12,589,173	5,877,127
固定負債	0	0
負債合計	12,589,173	5,877,127

正味財産の部	当年度	前年度
指定正味財産	0	0
一般正味財産	137,207,710	149,413,361
正味財産合計	137,207,710	149,413,361
負債及び正味財産合計	149,796,883	155,290,488

※2023年3月31日現在(単位:円)

組織概要

名称	公益財団法人 風に立つライオン基金	
設立日	2015年8月10日	
公益認定日	2017年7月13日(内閣府より)／同7月21日登記)	
設立者	さだまさし(佐田雅志)	
所在地	本部	〒107-0052 東京都港区赤坂6-12-11 赤坂甲陽ビル
	四国支部	〒760-0034 香川県高松市内町1-13 日新内町ビル
	関西支部	〒530-0001 大阪府大阪市北区梅田1-1-3 大阪駅前第三ビル31F
	東北復興支部	〒986-0847 宮城県石巻市中浦1-2-34

評議員

鎌田 實	諏訪中央病院名誉院長
佐渡 裕	指揮者
古田敦也	スポーツキャスター
戸張 捷	ゴルフトーナメントプロデューサー
安西範康	株式会社エニー顧問

役員

理事長	古竹孝一
副理事長	千葉恵弘
常務理事	早野秀之
理事	佐田雅志
理事	佐田繁理
理事	伊澤武志
理事	松本秀男
監事	桑野博輔

※2023年3月31日現在